

# 産学共同人材育成シンポジウム

## 欧州に学ぶ教育と雇用の接続

### ～産学連携による高度人材の育成に向けて～

グローバル化が進み、知識経済が到来する中、人口減少社会となった日本にとって、人材育成の質の向上は、コロナ禍前からの懸案です。「失われた30年」とも呼ばれる日本経済の長期低迷、G7中最下位の労働生産性というエビデンスに鑑み、人材育成の変革は待たなしの課題です。

ところが、現状はどうでしょうか。大学生は勉強しない日本の常識は、世界の非常識です。また、社会人の学び直しも依然低調で、パンデミック下でのデジタル化と共に、リカレント教育やリスキリングが盛んな海外との差は更に開きつつあります。さらに、日本に特異な現象として博士の就職難があります。高度人材を育成・活用する世界的趨勢から完全に取り残されています。

打開の糸口は、大学・大学院と産業界との連携により教育・雇用の接続する人材育成のトランスフォーメーションにあります。この面で、米国と違って福祉国家でありながら高い労働生産性を誇る欧州諸国の近年の動向は、在学中からの職業教育訓練、成績重視の採用、転職が当り前の柔軟な労働市場とセットになった社会人の学び直し等において、多くの示唆を与えてくれます。

本シンポジウムは、欧州のうち、職業教育訓練で知られるドイツ、「フレキシキュリティ」（労働市場の柔軟性「フレキシビリティ」＋社会保障「セキュリティ」の造語）で有名なデンマーク、日本と同様に大学での専攻と職種との関連は重視されないが成績は重視される英国、それぞれの教育・雇用の専門家3人による講演、欧州経験のある企業人2人による提言の後、パネルディスカッションを行い、産学連携による高度人材の育成に向けた課題克服の具体策を探究します。

2022年2月19日(土) 15:00～18:00 Zoomによるオンライン開催

15:00 開会

15:00-15:05 来賓挨拶 佐々木 邦彦 文部科学省 高等教育局 専門教育課 専門職大学院室長

15:05-15:10 来賓挨拶 長谷川 知子 一般社団法人 日本経済団体連合会 常務理事

15:10-15:20 趣旨説明 大森 不二雄 東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授

15:20-15:45 講演 変貌するドイツの職業訓練制度：大学教育とのハイブリッド化

山内 麻理 国際経営学者、国際教養大学 客員教授、日興アセットマネジメント株式会社 取締役(社外)、『雇用システムの多様化と国際的収斂』が労働関係図書優秀賞・日本労務学会学術賞受賞、『欧州の教育・雇用制度と若者キャリア形成』が大学教育学会選書入選

15:45-16:10 講演 デンマークの高等教育における教育と職の連繫 イノベーション基金と産学連携博士課程

鈴木 優美 Madogucci (マドグチ) 代表、『デンマークの光と影—福祉社会とネオリベラリズム』(2010年、壺生舎/リベルタ出版)の著者

16:10-16:35 講演 英国にも新卒採用がある？：似て非なる教育・雇用接続からの示唆

大森 不二雄 東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授

16:45-17:00 提言1 企業向けリスキリング&学生向けインターンシップ協学講座

中田 真也 株式会社日立製作所 人材統括本部 グローバル戦略アライアンス部 部長

17:00-17:15 提言2 産学往還によるT型人材大学院教育への変革

片山 琢磨 パナソニック株式会社 インダストリー社技術本部 センシングソリューション開発センター 所長

17:15-17:55 パネルディスカッション 人材育成のトランスフォーメーションに向けて

山内 麻理、鈴木 優美、大森 不二雄、中田 真也、片山 琢磨

17:55-18:00 閉会挨拶

杉本 和弘 東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授

【参加費】 無料

【申込み】 HP「[jitsumuka.jp](http://jitsumuka.jp)」のイベント申込にて参加申込してください。もしくは右のQRコードへ

【主催】 文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」実施校

創造と変革を先導する産学循環型人材育成システム(代表校:東北大学) / PBLと多職種連携を活用した進化した実務家教員養成プログラム(代表校:名古屋市立大学)  
実務家教員COEプロジェクト(代表校:社会情報大学院大学) / KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システム(代表校:舞鶴工業高等専門学校)

【後援】 文部科学省、一般社団法人 日本経済団体連合会

【問合せ】 文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」運営拠点 代表校(事務局)

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター  
〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41 TEL: 022-795-4472・4473  
Email: [innovator.jitsumuka@grp.tohoku.ac.jp](mailto:innovator.jitsumuka@grp.tohoku.ac.jp)

